

MD100Manager マニュアル

このマニュアルでは MD100Manager の
詳細設定を行うことが出来ます。

MD100Manager では
MD100 の設定変更や読み取ったデータを CSV に出力、
照合用のデータベースの作成を行えます。

MD100 についてはそれぞれのマニュアルを確認して下さい。

Ver1.20

内容

・ MD100Manager とは？	3
・ MD100Manager をインストールする	3
1. ソフトのインストール	3
・ MD100Manager の使い方	5
2. 起動をする	5
・ 機能説明 1	7
・ 機能説明 2（メニューバー）	8
・ 機能説明 3（ステータスバー）	8
・ 機能説明 4（コントロールタブ）	9
1. 同期設定	9
・ 各部説明	9
・ 詳細オプション（読み取りモード時）	10
・ 詳細オプション（照合モード時）	11
・ 操作手順	12
2. 本体設定	13
・ 各部説明	13
・ 操作手順	14
3-1. 本体設定（読み取りモード時）	15
・ 各部説明	15
・ 操作手順	16
3-2. 本体設定（照合モード時）	17
・ 各部説明	17
・ 操作手順	18
4. 参照 DB 作成	19
・ 各部説明（確認モード）	19
・ 各部説明（直接モード）	20
・ 使用方法（CSV ファイルを作成する 1）	21
・ 使用方法（CSV ファイルを作成する 2）	22
・ 使用方法（確認モードでデータベースを転送する）	23
5. 参照 DB 確認	25
・ 各部説明（確認モード）	25
・ 使用方法	26
・ 機能説明 5	27
・ 各部説明	27

・ MD100Manager とは？

MD100Manager は MD100 に保存されたデータをパソコンに転送するツールです。

また、MD100 の設定の変更や照合用のデータベースの登録、確認をすることが出来ます。

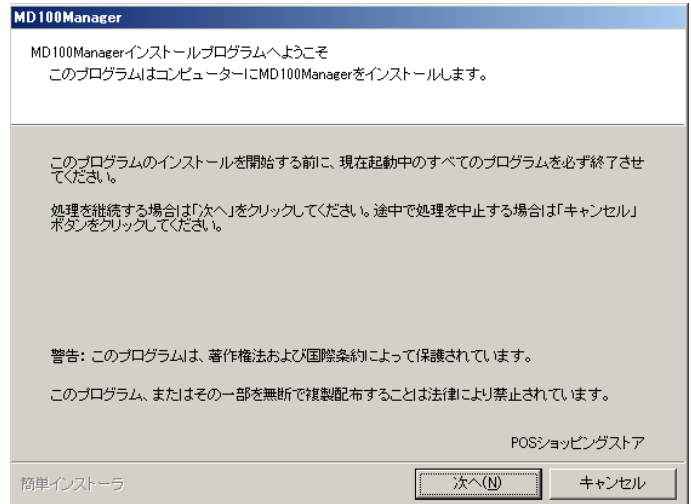
・ MD100Manager をインストールする

※インストールは CD セット時に自動で行われます。

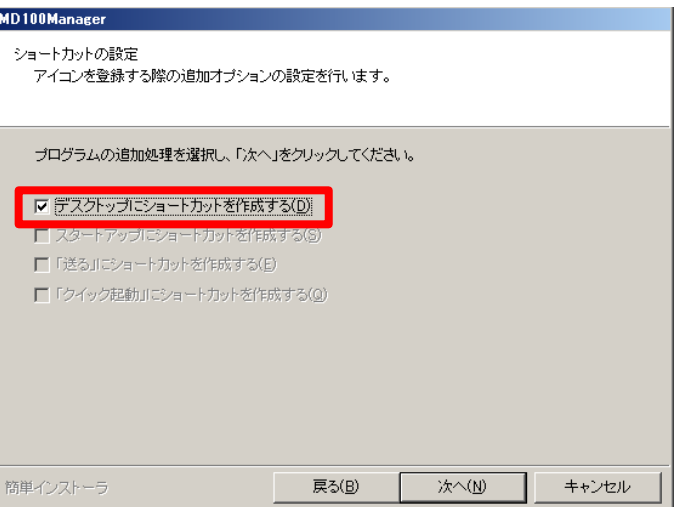
1. ソフトのインストール

説明	イメージ
付属の CD をドライブにセットします。	
右のような画面が自動で出てきます。 インストーラーが自動で起動するので インストーラーの指示に従って進めてください。 ※表示されない場合は「setup.bat」を実行します。	
右のような画面が出たら 「.NET」のインストールが開始されます。 インストーラーの指示に従い進めていきます。 ※既にインストールされている場合は省略されま す。	
次に「MS3 Database」のインストールが行われます。 インストーラーの指示に従いインストールを行いま す。	

最後に MD100 のインストーラーが起動します。
「ショートカットの設定」が出てくるまでソフトの指示に従いインストールを進めていきます。


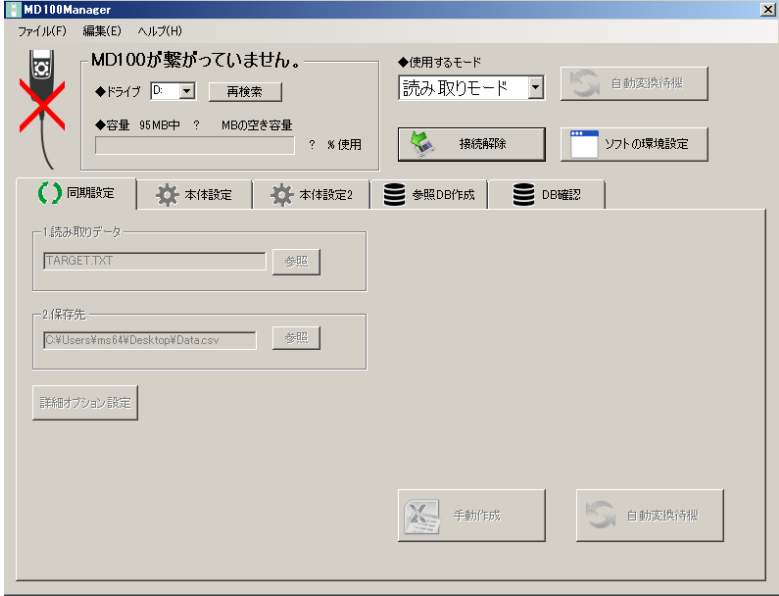
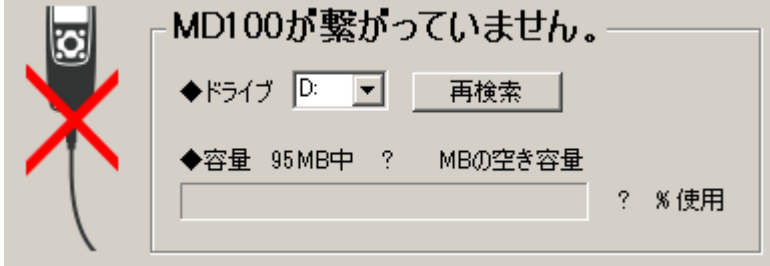
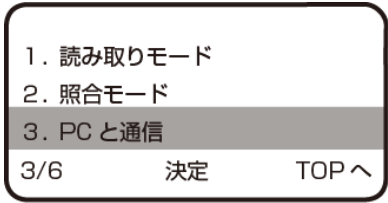



MD100Manager のインストーラーのショートカットの設定で「デスクトップにショートカットを作成する」にチェックを入れるとデスクトップにアイコンが作られて起動が便利になります。



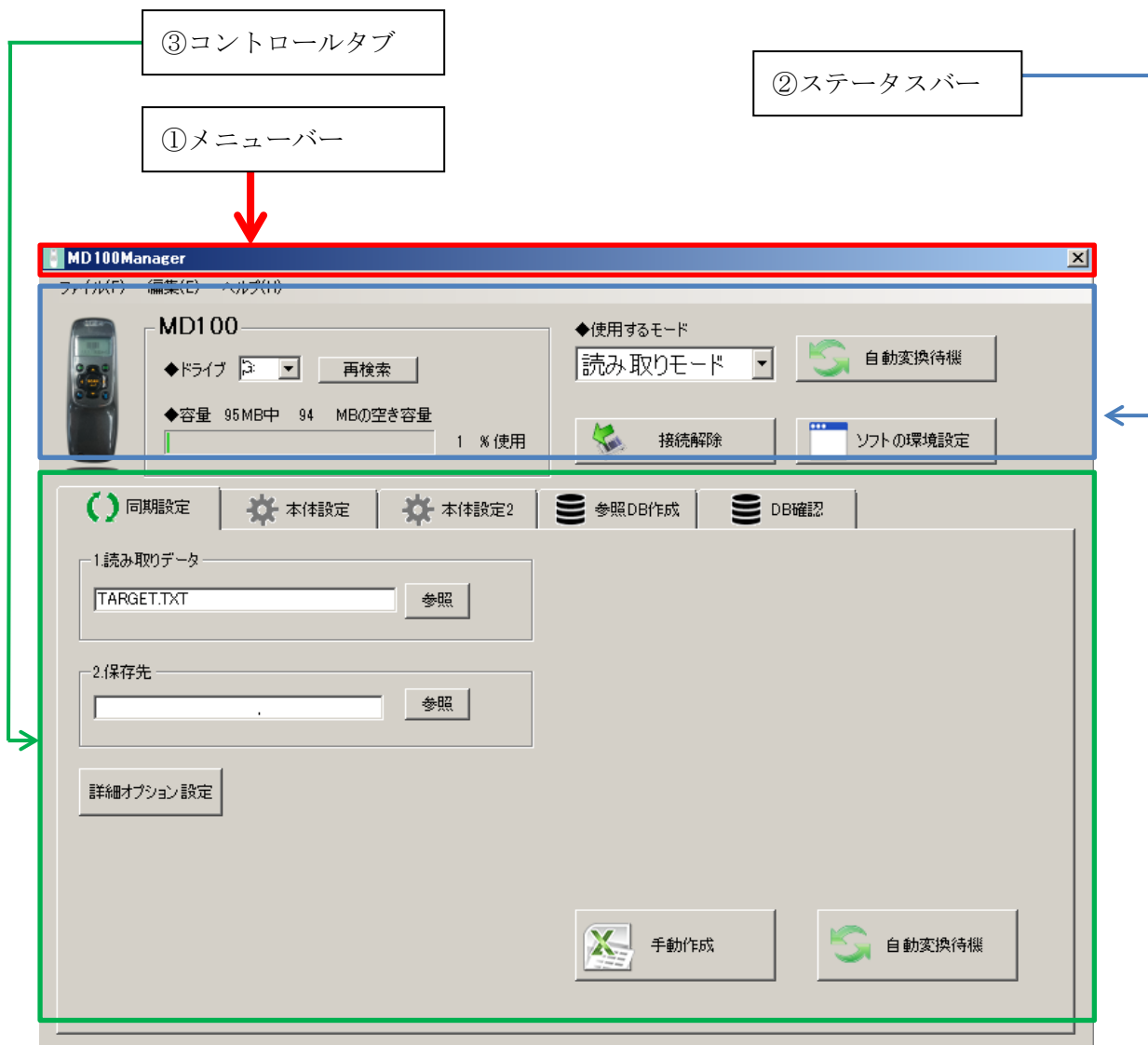
黒のウィンドウが閉じたらインストール完了です。

2.起動をする

No	説明	イメージ
1	デスクトップより 「MD100Manager」を起動します。	
2	MD100Manager が立ち上がりました。	
3	右のように 「MD100 が繋がっていません」 の状態だと機能の一部が制限されま す。 そのため、MD100 を PC に接続をし ます。	
4	MD100 の設定に入ります。 電源を入れて 3 番目の項目 「PC と通信」を選択します。	
5	この状態で付属のケーブルと PC を接続します。	

6	<p>パソコン側に 右のような画面が出てきたら「閉じる」を押してください。</p>	
7	<p>右のように MD100 の画像が表示されたら接続完了です。</p>	
※	<p>通信が終わったら必ず接続解除を押して接続を解除してください。</p>	

・ 機能説明 1



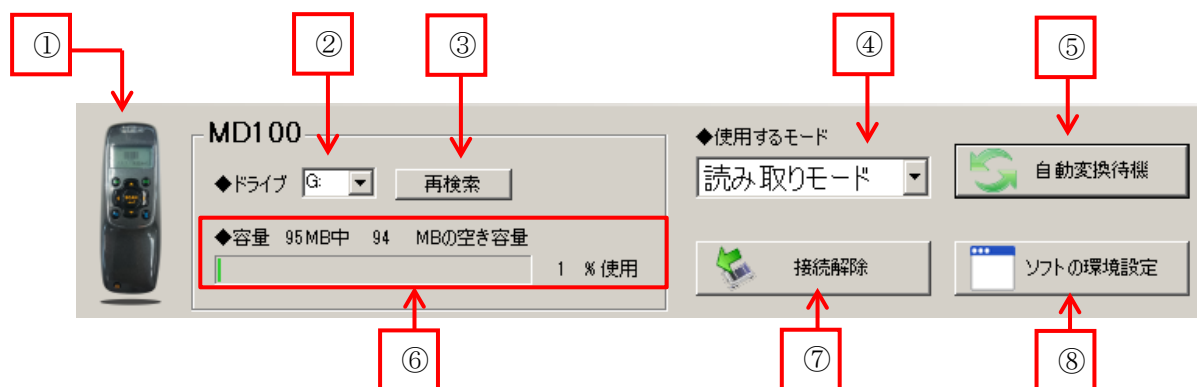
項目	説明	ページ
①メニューバー	環境の設定やファイルの保存先を開くことができます。 また、ヘルプの表示もここから行えます。	P8
②ステータスバー	MD100 の利用状況や使用するモードを確認、 接続の解除を行います。	P8
③コントロールタブ	MD100 との通信や設定、照合データを登録する ツール類です。	P9

・機能説明 2 (メニューバー)



ファイル		
MD100 ドライブを開く	MD100 のドライブを開きます。	
MD100 の検索	MD100 を接続して認識しない際に使用します。	
終了	ソフトを終了します。	
編集		
環境設定	ソフトの設定を行います。ソフトの設定の初期化もここから行います。	P27
ヘルプ		
ヘルプの表示	ソフトの使い方や MD100 の操作説明を確認できます。	
バージョン情報	ソフトのバージョンを確認できます。	

・機能説明 3 (ステータスバー)



番号	項目	説明
①	接続確認アイコン	MD100 の画像の状態だと接続が行われています。 MD100 の画像に×が付いていると接続は出来ていません。
②	ドライブ	MD100 は USB スティックメモリと同様に認識されます。 そのドライブが表示されます。 また、「▼」をクリックすることで複数台の MD100 を接続している場合、通信を行う MD100 を選択できます。
③	再検索	MD100 を検索し接続する事ができます。
④	使用するモード	MD100 で使用するモードを選びます。 選んだモードにより、その他の表示に影響します。
⑤	自動変換待機	自動変換待機モードになりタスクトレイに格納されます。 MD100 を再度接続すると自動でデータを指定した場所に保存します。
⑥	容量	MD100 の使用容量を表示します。
⑦	接続解除	MD100 を安全にパソコンから取り外します。
⑧	MD100Manager 設定	ソフトの設定を行います。P27 参照

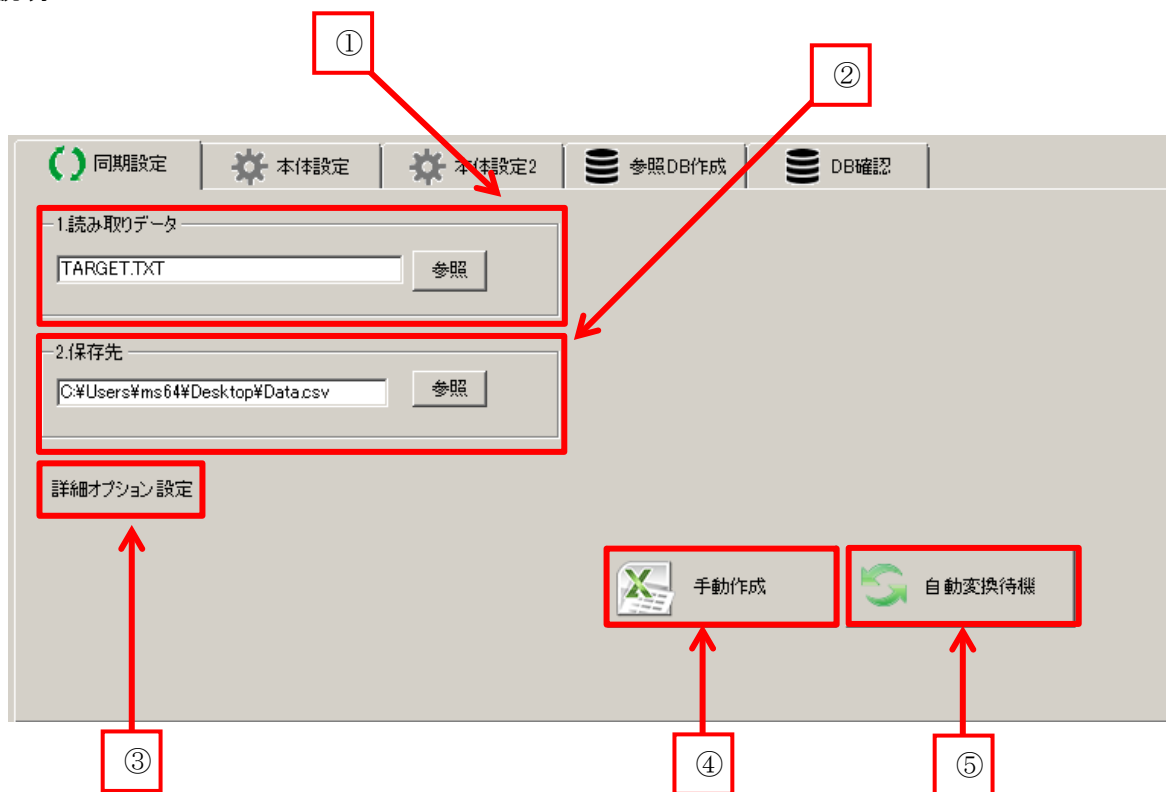
・機能説明 4（コントロールタブ）

1.同期設定

MD100 で読み取ったバーコードを取り込むことができます。

また、自動取り込みモードに切り替えたり、取り込むデータの簡単な加工を行ったり保存先を設定することが可能になっています。

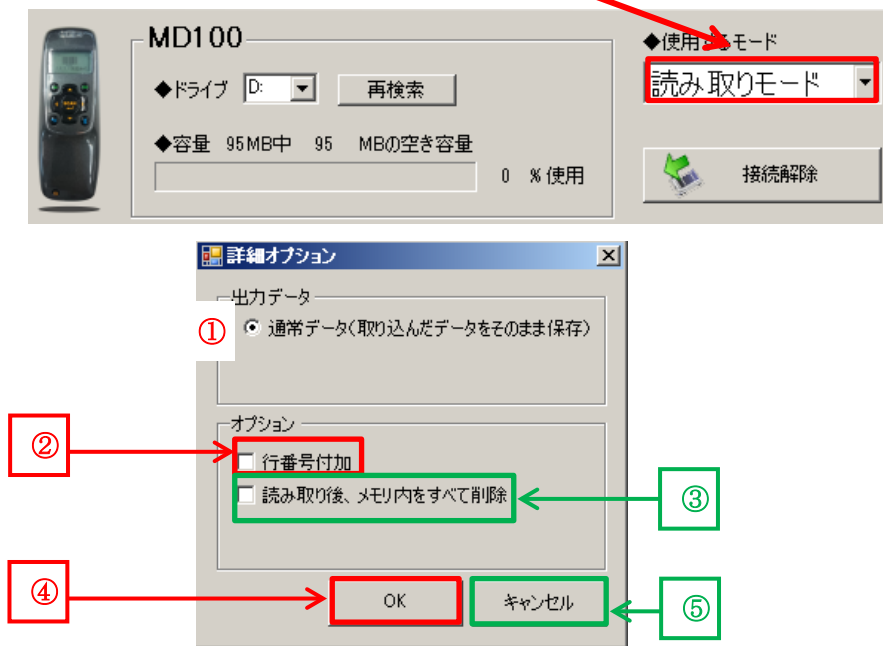
・各部説明



番号	項目	説明
①	読み取りデータ	MD100 から取り込むファイルを設定します。 「TARGET.TXT」になっていることを確認します。
②	保存先	MD100 から取り込むデータの保存先を指定します。
③	詳細オプション設定	P10 にて説明します。
④	手動作成	ボタンを押すと MD100 で読み取ったデータを①～③の設定を反映して保存します。
⑤	自動変換待機	待機モードとなりタスクトレイに格納されます。 再度 MD100 が接続されると自動でデータを取り込みます。

・詳細オプション（読み取りモード時）

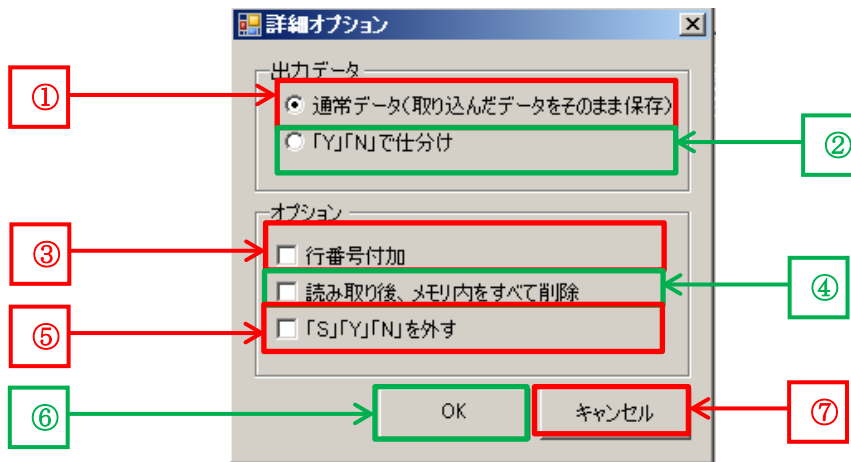
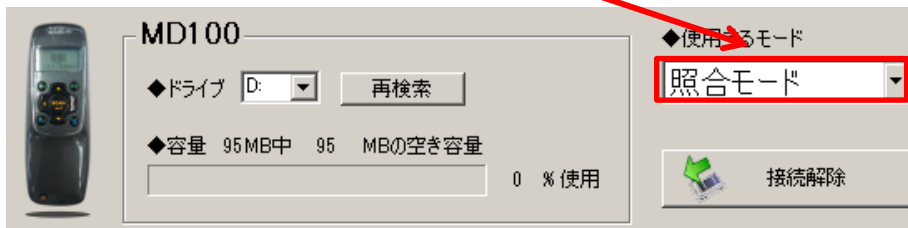
この設定は下記の赤四角部分が「読み取りモード」の場合のみ、使用可能です。



番号	項目	説明
①	通常データ	取り込んだデータを1つのCSVファイルに保存します。
②	行番号付加	ExcelのA列に行番号を付加します。バーコードデータはB列以降に表示します。
③	読み取り後、メモリ内をすべて削除	CSVを作成後、MD100に保存されたバーコードを削除します。CSVが作成出来なかった場合、削除は行われません。
④	OK	①～③を反映させます。
⑤	キャンセル	①～③の設定を反映させません。

・詳細オプション（照合モード時）

この設定は下記の赤四角部分が「照合モード」の場合のみ、使用可能です。



番号	項目	説明
①	通常データ	取り込んだデータを1つのCSVファイルに保存します。
②	「Y」「N」で仕分け	照合を行った後の一致データと不一致データを別のCSVに出力することができます。 一致データは通常ファイル名、不一致データは「ファイル名+_NoData.csv」に保存されます。
③	行番号付加	ExcelのA列に行番号を付加します。バーコードデータはB列以降に表示します。
④	読み取り後、メモリ内をすべて削除	CSVを作成後、MD100に保存されたバーコードを削除します。CSVが作成出来なかった場合、削除は行われません。
⑤	「S」「Y」「N」を外す	照合結果のデータには照合一致「:y」不一致「:n」照合元「:s」が自動的に付加されます。 この設定を有効にしておくことでそれらを外すことができます。
⑥	OK	①～⑤を反映させます。
⑦	キャンセル	①～⑤の設定を反映させません。

・ 操作手順

番号	説明	イメージ
①	P5 を参照して MD100 を PC に接続します。	
②	読み取りデータが「TARGET.TXT」になっていることを確認して下さい。	
③	「参照」ボタンを押して保存する場所、保存名を指定します。CSV形式で保存されます。	
④	詳細オプション設定を押すと P11 のようなオプション設定を行うことができます。	
⑤	最後にこの手動作成ボタンを押すと PC 側にデータが出力されます。	

2.本体設定

・各部説明



番号	項目	状態	説明
①	確認送信	ON	バーコード読み取り後に保存するか確認を表示します。
		OFF	通常通りバーコードを送信します。
②	日付転送	ON	バーコードデータに日付を付加します。
		OFF	通常通りバーコードを送信します。
③	時刻転送	ON	バーコードデータに時刻を付加します。
		OFF	通常通りバーコードを送信します。
④	スキャン方法	グッドリード	ボタンを押して一定時間レーザーを照射します。
		トリガー	ボタンを押している間、レーザーを照射します。
		オートスキャン	読み取りモード、照合モードに切り替えると照射を始めます。
⑤	本体番号	OFF	通常通りバーコードデータを転送します。
		本体番号付加	テキストボックスに入力した数字（3桁まで）を本体番号としてバーコードデータに付加します。
⑥	バックライト点灯時間	10秒～ なし	指定した時間、バックライトの点灯を行います。 なしに設定すると消灯しません。
⑦	スリープ設定	1分～ なし	スリープモードに移行するまでの時間を指定します。 スリープモードに移行すると電源を押すまで反応しません。 時間をなしに設定すると移行しません。
⑧	音量	小～ミュート	読み取り音の設定をします。ミュートにすると音が出ません。
⑨	バイブレーション	ON	読み取り時にバイブを動作させます。
		OFF	読み取り時のバイブを動作させません。

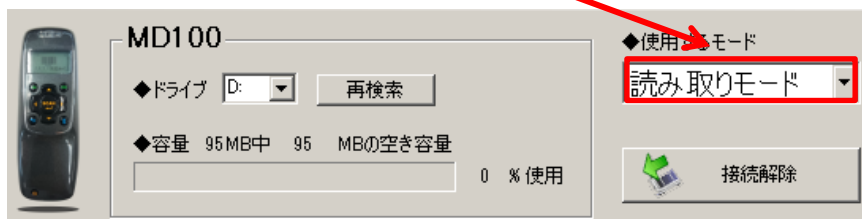
番号	項目	状態	説明
⑩	データを「 ”」 で囲む	ON	バーコードデータにカンマが含まれていたりする際に使用します。
		OFF	通常通りバーコードデータを転送します。
⑪	説明		そのモードの動作のヘルプを表示します。
⑫	上の内容で設定		各項目で設定した内容を MD100 に転送します。
⑬	履歴表示	速度優先	MD100 本体側で履歴を確認する際に速度優先で表示します。
		右矢印で・・	MD100 本体側で右矢印キーを押すことで画面内に収まりきれないデータを表示できます。

・ 操作手順

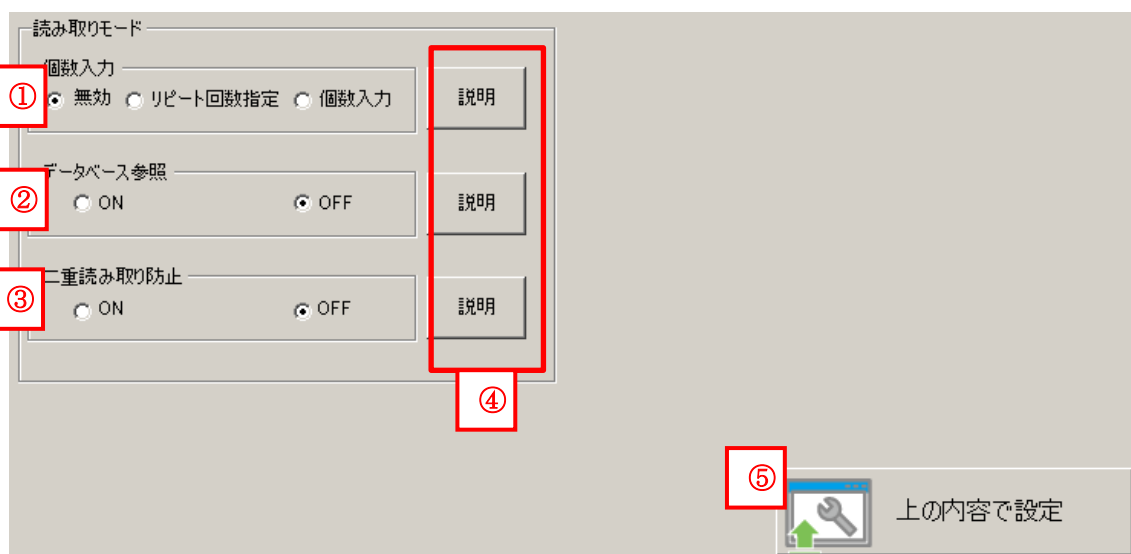
番号	説明	イメージ
①	P5 を参照して MD100 を PC に接続します。	
②	反映したい部分にチェックを入れます。 説明ボタンを押すとその項目の詳細が表示されます。	
③	最後に右側の「上の内容で設定」をクリックすると MD100 に設定が転送されます。	
④	MD100 と接続を解除します。	
⑤	ケーブルを外すと設定が反映されます。	

3-1.本体設定（読み取りモード時）

この設定は下記の赤四角部分が「読み取りモード」の場合のみ、使用可能です。



・各部説明



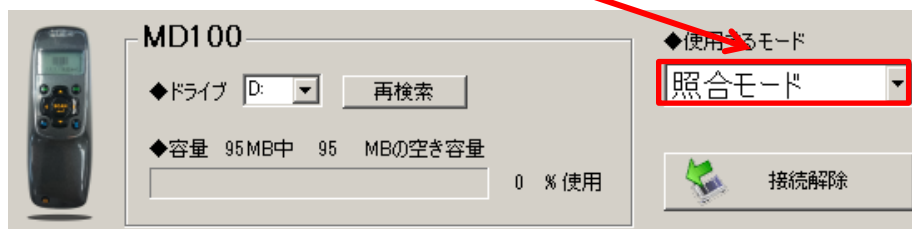
番号	項目	状態	説明
①	個数入力	無効	通常通りバーコードを送信します。
		リピート回数指定	バーコード読み取り後に回数入力画面になります。 回数を入力するとその数分バーコードが保存されます。
		個数入力	バーコード読み取り後に回数入力画面になります。 回数を入力するとその数がバーコードデータに付加されます。 例：コード 12345 を読み取り 5 回と入力した場合「12345,5」
②	データベース参照	ON	参照 DB で作ったデータと一致するバーコードを読み取った際に詳細データを表示することが出来ます。 一致結果に関係なくそのまま保存されます。
		OFF	通常通りバーコードを送信します。
③	二重読み取り防止	ON	同じコードを二度読み取ると警告を出し保存しません。
		OFF	通常通りバーコードを送信します。
④	説明		該当項目の説明を表示します。
⑤	上の内容で設定		①～③の内容を MD100 に転送します。

・ 操作手順

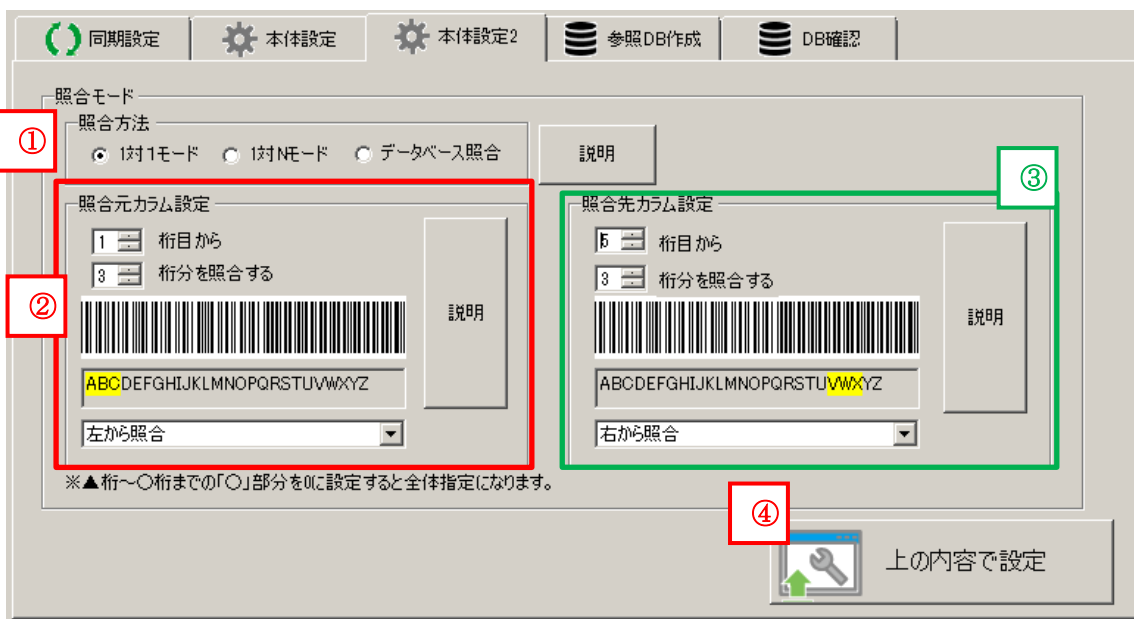
番号	説明	イメージ
①	P5 を参照して MD100 を PC に接続します。	
②	<p>反映したい部分にチェックを入れます。</p> <p>説明ボタンを押すとその項目の詳細が表示されます。</p>	
③	最後に右下側の「上の内容で設定」をクリックすると MD100 に設定が転送されます。	
④	MD100 と接続を解除します。	
⑤	ケーブルを外すと設定が反映されます。	

3-2.本体設定（照合モード時）

この設定は下記の赤四角部分が「照合モード」の場合のみ、使用可能です。



・各部説明



番号	項目	状態	説明
①	照合方法	1対1モード	1つの照合元と1つの照合先を比較します。
		1対Nモード	1つの照合元に対して複数の照合先を比較します。
		データベース照合	データベースを登録しそれらと照合を行います。
②	照合元カラム設定		指定した部分を抜き出し照合元とすることが可能です。 ▲桁～○桁分の「○」部分を0にすると全体指定になります。 バーコードの画像の下の部分よりどこが抜き出されるかの確認が可能です。 先頭から照合するには「左側から照合」末尾から照合する場合は「右側から照合」を選択します。
③	照合先カラム設定		指定した部分を抜き出し照合元とすることが可能です。 ▲桁～○桁分の「○」部分を0にすると全体指定になります。 バーコードの画像の下の部分よりどこが抜き出されるかの確認が可能です。 先頭から照合するには「左側から照合」末尾から照合する場合は「右側から照合」を選択します。
④	上の内容で設定		MD100に①～③の設定を転送します。

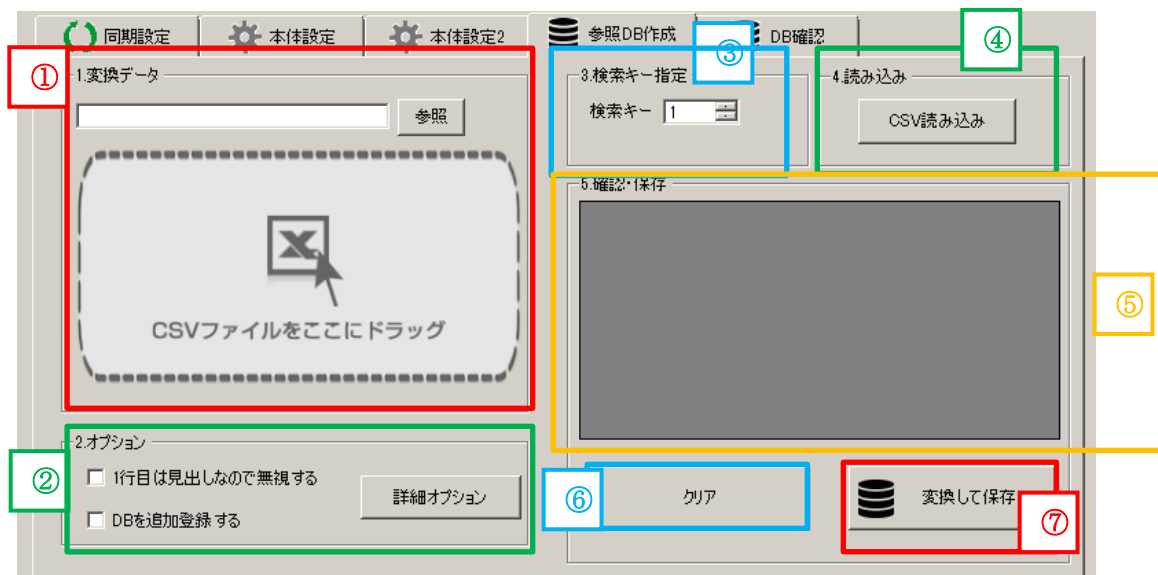
・ 操作手順

番号	説明	イメージ
①	P5 を参照して MD100 を PC に接続します。	 <p>MD100 ◆ドライブ D: [再検索] ◆容量 95MB中 95 MBの空き容量 0 % 使用</p>
②	<p>反映したい部分にチェックを入れます。</p> <p>説明ボタンを押すとその項目の詳細が表示されます。</p>	 <p>照合モード 照合方法 <input checked="" type="radio"/> 1対1モード <input type="radio"/> 1対Nモード <input type="radio"/> データベース照合 説明 照合元カラム設定 1 桁目から 3 桁分を照合する 説明 左から照合 照合先カラム設定 5 桁目から 3 桁分を照合する 説明 右から照合 ※▲桁～○桁までの「○」部分を0に設定すると全体指定になります。</p>
③	最後に右側の「上の内容で設定」をクリックすると MD100 に設定が転送されます。	 <p>上の内容で設定</p>
④	MD100 と接続を解除します。	 <p>接続解除</p>
⑤	ケーブルを外すと設定が反映されます。	

4.参照 DB 作成

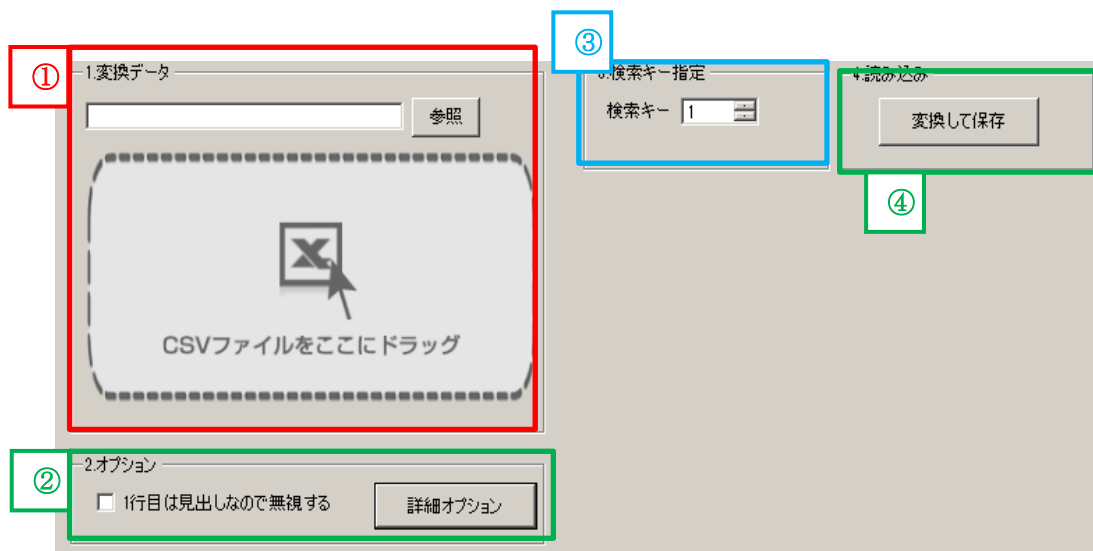
このモードでは「データベース参照」「データベース照合」で使うデータベースを作成することができます。
 予め CSV データを作っておく必要があります。

・各部説明（確認モード）



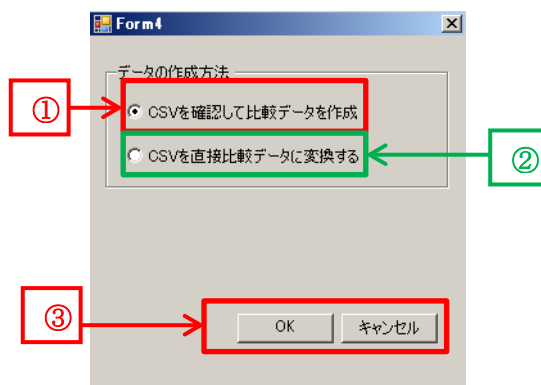
番号	項目		説明
①	変換データ		照合に使うデータを参照します。 「参照」を押すか、変換したいファイルを「CSV ファイルをここにドラッグ」部分にドラッグ&ドロップすると選択されます。
②	オプション	1行目は見出しなので無視する	CSV ファイルの 1 行目のデータを読み取りません。
		詳細オプション	DB 作成モードの設定が出来ます。P20 参照
③	検索キー指定		読み取ったバーコードと照合する列を指定します。
④	CSV 読み込み		①～③の設定を反映して⑤にそのデータを表示します。
⑤	確認・保存		①～④のデータを反映してどのように登録されるかを表示します。 薄い赤列が照合されるデータ、その他部分が一致した際に表示されるデータです。
⑥	クリア		⑤に表示されているデータをクリアします。
⑦	変換して保存		①～⑤のデータを反映して MD100 に転送します。

・各部説明（直接モード）



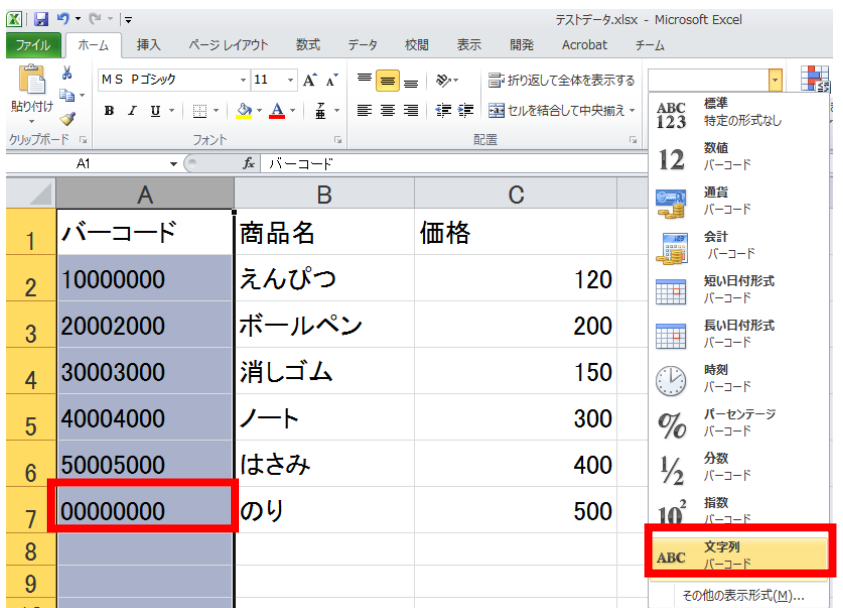
番号	項目	説明
①	変換データ	照合に使うデータを参照します。 「参照」を押すか、変換したいファイルを「CSV ファイルをここにドラッグ」部分にドラッグ&ドロップすると選択されます。
②	オプション	1 行目は見出しなので無視する CSV ファイルの 1 行目のデータを読み取りません。
	詳細オプション	DB 作成モードの設定が出来ます。下記参照
③	検索キー指定	読み取ったバーコードと照合する列を指定します。
④	変換して保存	①～③の設定を反映して MD100 に転送します。

・詳細オプション



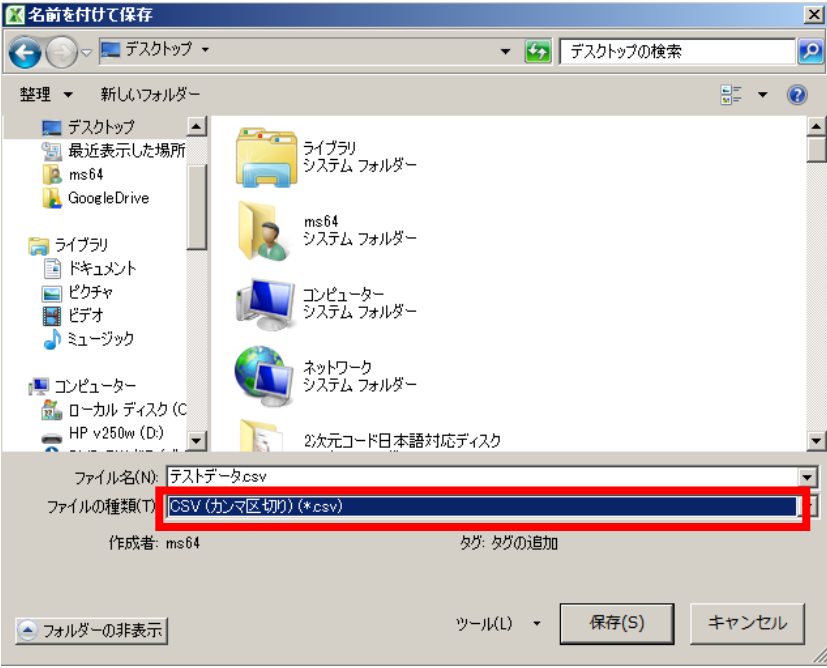
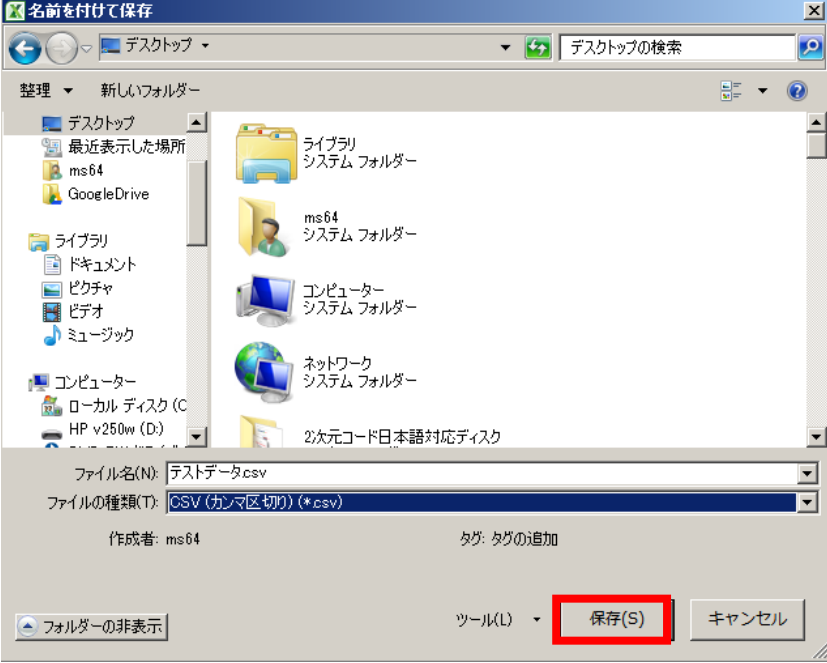

番号	項目	説明
①	CSV を確認して比較データを作成	P18 の確認モードに移行します。
②	CSV を直接比較データに変換する	P20 の直接モードに移行します。
③	OK キャンセル	「OK」を押すと①～②が保存され 「キャンセル」を押すと①～②は保存されません。

・使用方法（CSV ファイルを作成する 1）




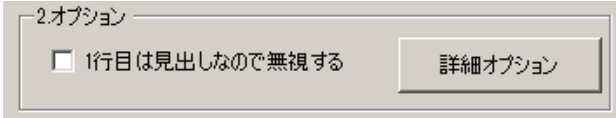

No	説明	イメージ																																
1	照合元になる Excel ファイルを作成します。 A 列を検索キーになるようにしてください。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>バーコード</td> <td>商品名</td> <td>価格</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10000000</td> <td>えんぴつ</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>20002000</td> <td>ボールペン</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>30003000</td> <td>消しゴム</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>40004000</td> <td>ノート</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>50005000</td> <td>はさみ</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>00000000</td> <td>のり</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	1	バーコード	商品名	価格	2	10000000	えんぴつ	120	3	20002000	ボールペン	200	4	30003000	消しゴム	150	5	40004000	ノート	300	6	50005000	はさみ	400	7	00000000	のり	500
	A	B	C																															
1	バーコード	商品名	価格																															
2	10000000	えんぴつ	120																															
3	20002000	ボールペン	200																															
4	30003000	消しゴム	150																															
5	40004000	ノート	300																															
6	50005000	はさみ	400																															
7	00000000	のり	500																															
2	B 列以降は照合が一致した際に MD100 に表示されるデータです。 左から 20 文字が表示可能です。 例は B 列と C 列ですが D 列、E 列と増やしても大丈夫です。 例： 右の画像の場合、「10000000」と言うバーコードを読み取ると「MD100,60000」と表示させることが可能です。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>バーコード</td> <td>商品名</td> <td>価格</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10000000</td> <td>えんぴつ</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>20002000</td> <td>ボールペン</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>30003000</td> <td>消しゴム</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>40004000</td> <td>ノート</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>50005000</td> <td>はさみ</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>00000000</td> <td>のり</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	1	バーコード	商品名	価格	2	10000000	えんぴつ	120	3	20002000	ボールペン	200	4	30003000	消しゴム	150	5	40004000	ノート	300	6	50005000	はさみ	400	7	00000000	のり	500
	A	B	C																															
1	バーコード	商品名	価格																															
2	10000000	えんぴつ	120																															
3	20002000	ボールペン	200																															
4	30003000	消しゴム	150																															
5	40004000	ノート	300																															
6	50005000	はさみ	400																															
7	00000000	のり	500																															
3	「0」が一番初めに含まれるコードはうまく表示出来ないので文字列に変更してください。 ※右クリック→「セルの書式設定」→「表示形式」→「文字列」でも可能です。	 <p>The screenshot shows the Microsoft Excel interface. The active cell is A7, containing '00000000'. The 'Format Cells' dialog box is open, and the 'Text' option is selected under the 'Number' tab. The 'Text' option is highlighted with a red box in the original image.</p>																																


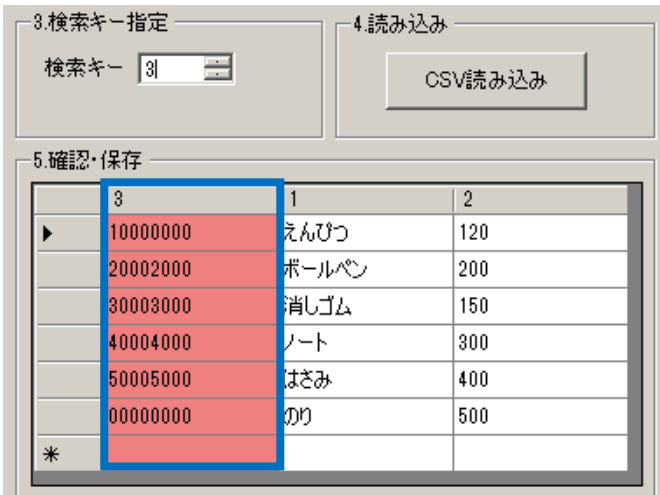
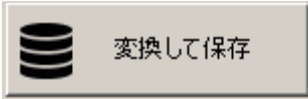

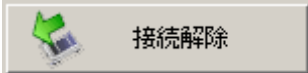
※次ページに続きます

・使用方法（CSV ファイルを作成する 2）

No	説明	イメージ
1	名前をつけて保存を選び ファイルの種類を 「CSV (カンマ区切り)」にしま す。	
2	保存を押して保存します。	
3	出力したデータを 確認して完了です。	

・使用方法（確認モードでデータベースを転送する）

番号	説明	イメージ																																
①	P5 を参照して MD100 を PC に接続します。																																	
②	CSV ファイルを「参照ボタン」を押して参照する。 または「CSV ファイルをここにドラッグ」にドラッグアンドドロップします。																																	
③	左の用にテキストボックスが変化します。																																	
④	1 行目を見出しとして読み取らない場合は赤部分にチェックを入れます。																																	
⑤	確認・保存を押して特に問題がなければ「変換して保存」をクリックします。	 <table border="1" data-bbox="815 1686 1342 1944"> <thead> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▶</td> <td>10000000</td> <td>えんぴつ</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td></td> <td>20002000</td> <td>ボールペン</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>30003000</td> <td>消しゴム</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td></td> <td>40004000</td> <td>ノート</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50005000</td> <td>はさみ</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td></td> <td>00000000</td> <td>のり</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>*</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		1	2	3	▶	10000000	えんぴつ	120		20002000	ボールペン	200		30003000	消しゴム	150		40004000	ノート	300		50005000	はさみ	400		00000000	のり	500	*			
	1	2	3																															
▶	10000000	えんぴつ	120																															
	20002000	ボールペン	200																															
	30003000	消しゴム	150																															
	40004000	ノート	300																															
	50005000	はさみ	400																															
	00000000	のり	500																															
*																																		

番号	説明	イメージ																					
⑥	<p>右のように3行目を検索キーにしたい場合は</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.赤四角をクリック 2.青四角の値を変更する <p>のどちらかをするにより⑦のようにすることが出来ます。</p>																						
⑦	<p>1行目にバーコードデータが移動しました。</p>	 <table border="1" data-bbox="774 869 1390 1160"> <thead> <tr> <th>3</th> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10000000</td> <td>えんぴつ</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>20002000</td> <td>ボールペン</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>30003000</td> <td>消しゴム</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>40004000</td> <td>ノート</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>50005000</td> <td>はさみ</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>00000000</td> <td>のり</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table>	3	1	2	10000000	えんぴつ	120	20002000	ボールペン	200	30003000	消しゴム	150	40004000	ノート	300	50005000	はさみ	400	00000000	のり	500
3	1	2																					
10000000	えんぴつ	120																					
20002000	ボールペン	200																					
30003000	消しゴム	150																					
40004000	ノート	300																					
50005000	はさみ	400																					
00000000	のり	500																					
⑧	<p>変換して保存を押すと MD100 にデータの転送が始まります。</p>																						
⑨	<p>右のように表示されたらデータの出力が完了しています。</p>																						
⑩	<p>接続解除を押してパソコンとの通信を解除します。</p>																						

5.参照 DB 確認


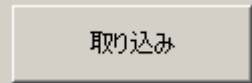

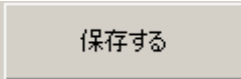


このモードでは「4.参照 DB 作成」で作成したデータの確認が可能です。

・各部説明（確認モード）



番号	項目	説明
①	取り込み	MD100 より「4.参照 DB 作成」で作ったデータベースを確認します。
②	CSV に保存	③に表示されているデータを保存します。
③	右の表をクリアする	④の DB 参照をクリアします
④	DB 参照	MD100 に保存されているデータベースを表示します。 Barcode は比較するバーコード。 Description は関連付けされているデータになります。

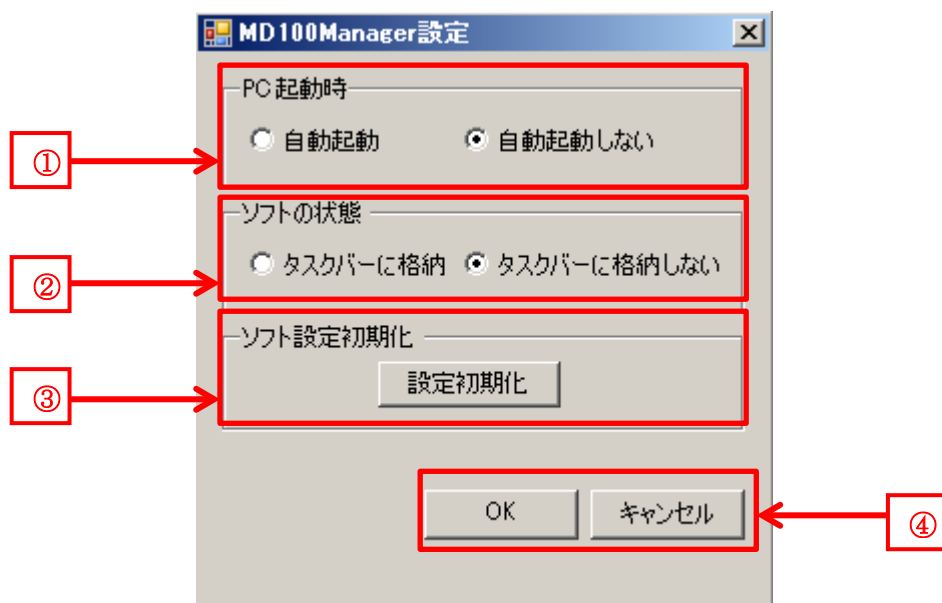
・使用方法

番号	説明	イメージ
①	P5 を参照して MD100 を PC に接続します。	
②	取り込みを押します。	
③	DB 参照にデータが表示されます。	
④	表示したデータが必要であれば「保存する」をクリックします。	
⑤	右のような画面が表示されたら保存が完了しています。	
⑥	最後に接続を終了する場合は「接続解除」をクリックして MD100 を取り外します。	

・ 機能説明 5

MD100Manager の設定を説明します。

・ 各部説明



番号	項目	説明	
①	PC 起動時	パソコンの電源を入れて立ち上げる際に MD100Manager も同時に起動するかを選択出来ます。	
②	ソフトの状態	格納する	ソフトを起動時にタスクトレイに格納します。
		格納しない	ソフト起動時に通常ウィンドウで起動します。
③	ソフト設定初期化	ソフトの設定を初期化します。 初期化後は元に戻せないので注意してください。	
④	OK キャンセル	OK	①～③の設定を保存し反映します。
		キャンセル	①～③の設定を保存しません。